

学校長あいさつ

本校ホームページをご覧ください、ありがとうございます。

本校は、昭和35年3月1日沖縄整肢療護園が開園し、小さな分教場が設置され本校の歴史がスタートしました。那覇市立神原小学校・那覇市立寄宮中学校分教場から始まり、9年後の昭和44年12月15日に分教場は琉球政府立那覇養護学校として独立認可され、今年で創立57年目を迎えます。

特別支援教育本格実施に伴い、平成21年「沖縄県立那覇特別支援学校」となり、児童生徒全員が集える“希望(ゆめ)の樹(き)広場”や室内プールなど設備も充実してきました。

本校の教育目標は、(1)社会参加する力を育てる、(2)「自立」する力を育てる、(3)「学ぶこと」を楽しみ、粘り強くやり抜く力を育てることです。校名にちなみ「希望(ゆめ)がある 笑顔がある みんなが**那覇特(なっとく)**する学校」をモットーに教育目標の達成に取り組んでいます。

また、開校当初より隣接する「沖縄南部療育医療センター」の入所者が通学しており、本校の教育活動を安全・安心に取り組むために連携・協力が不可欠であり、合同で「地震・津波避難訓練」等も実施しています。

さて、令和8年度は、4月1日現在で小学部1名、中学部7名、高等部3名の全児童生徒数11名と県内の特別支援学校の中では極小規模校ながら活気と和気あいあいとした雰囲気のある学校です。

本年度も引き続き、「聞いてなっとく(那覇特) 見てなっとく(那覇特) 知ってなっとく(那覇特) できてなっとく(那覇特)」をモットーに、教職員一同が児童生徒個々の実態に応じた指導・支援力を発揮し、児童生徒の「やりたい」を「やってみる(挑戦する)」意欲につなげ、子どもたちを真ん中にした学校教育が転換できるよう、1歩ずつ進めてまいりたいと思います。



本校のシンボル
「希望(ゆめ)の樹(き)」



ホームページを通して、本校の児童生徒が明るく、元気に学んでいる活動ぶりをご覧ください、今後とも本校の教育に一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

【校章】

中央のオレンジ色は、「太陽」を表しています。「太陽」は、万物の源です。私たちが太陽のように明るく力強く生きたいものです。

朱色は、「でいご」の花を表しています。「でいご」は、県花でいかなる困難にもくじけない心意気を示しています。周りの車輪は、車いすを表しています。三つの車輪は、みんなが力を寄せ合って、社会の厳しさに打ちかてるようにと願いが込められています。

令和8年4月

沖縄県立那覇特別支援学校

校長 下里 佳代子